

京都精華大学
萌芽的研究助成 公開勉強会
アジア・アフリカ比較共同研究
「現代社会の生活空間における宗教性」

2022年10月13日

9:00-10:30

梅屋潔（神戸大学）

「蜘蛛の巣モデル—宗教的
説明の開放性と閉鎖性—」

山下博司（東北大学）

「移民集団と民族宗教の変質
—マレーシアの事例から—」

■講師プロフィール■

梅屋潔

神戸大学 大学院国際文化学研究科教授

専門は、アフリカや日本の民俗宗教。マケレレ大学社会科学部客員研究員、ウガンダ国基礎的社会調査研究所研究フェロー及び国際協力事業団専門家（1999年）などを務め、2016年から神戸大学大学院国際文化学研究科教授。2019年からケープタウン大学人文学部客員教授。代表的な著書に『福音を説くウィッチ—ウガンダ・パドラにおける「災因論」の民族誌』風響社2018年、『The Gospel Sounds Like the Witch's Spell: Dealing With Misfortune Among the Jopadhola of Eastern Uganda』Bamenda: Langaa RPCIG 2022年など。その他多数共著を出版。

山下博司

東北大学 大学院国際文化研究科 名誉教授。

東北大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学。マドラス大学ラーダークリシュナン哲学高等研究所博士課程修了。専攻はインド文化史・思想史、移民研究、インド映画研究、南アジア地域研究。南アジア以外に、東南アジア、中東、北米、ヨーロッパ等で宗教調査や移民研究に従事。名古屋大学大学院国際開発研究科助教授などを経て、現在東北大学大学院国際文化研究科名誉教授。国際ドラヴィダ言語学研究所、国立シンガポール大学社会学科、タイ国立芸術学院で客員研究員を務めた。代表的な著書に『インド人の「カ」』講談社2016年、『古代インドの思想：自然・文明・宗教』筑摩書房2014年、『ヨーガの思想』講談社2009年、『アジアのハリウッド—グローバル化とインド映画』2010年、『ヒンドゥー教 インドという謎』講談社2004年等。

9:00-9:05

挨拶・趣旨説明

宗教性と日常的生活空間・

「下からの」政治（阿毛・檜尾）

9:05-9:20

プログラム参加者各自の

自己紹介と進捗報告

9:20-9:50

発表1梅屋

9:50-10:20

発表2山下

10:20-10:30

全体質疑とまとめ



参加登録URL